

2023年度 くまもと南部広域病院 さくら保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を下記の通り公表いたします。
また、自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2023年1月4日（水）～2024年1月4日（木）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月30日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「当院職員の仕事と育児の両立を支援し、自然にあふれた安心できる保育環境でお子様の心と体の健全な発達を図る」の保育理念に則り、委託先と連携しのびのびとした環境の下で、健やかな成長を保護者さんとともに見守り、育てていくようにした。
子どもの発達援助	子どもの姿を見て、保育計画を立案し、一人ひとりにあった関わりや、やり方、援助など柔軟に対応することで、子ども達一人ひとりが無理なく伸び伸びと成長、発達できるようにした。
保護者に対する支援	コロナ感染症対策が、柔軟化したことで、保護者に保育園の中の状況、活動を見てもらい、体感できる機会をつくることができ、保護者の方にさらに安心感を与えることができた。
保育を支える組織的基盤	WEBでの研修を積極的に見つけ出し、保育士が参加できる状況を整えたり、提案して保育の向上心の為にきっかけになった。

総評
<p>子ども達に一人ひとりに寄り添えるは基本で、その年の子ども達の様子を見て一年の目標を保育士同士で共有し保育活動を計画するのにいかし、無理がないような設定ができたと思う。「たのしかった」と言ってくれる子ども達にもっと楽しいことを経験させたいと思い日々の保育に挑んでいたともう。</p> <p>コロナ感染症対策が緩和したことで、保護者と関わる行事や、施設のお年寄りと関わる行事ができたことで子ども達も成長が出来た。研修で保育所保育指針をもとに実践に近いディスカッションもでき良かった。</p>